

最低賃金 1,000 円以上 全国一律制度を目指して



N0.6

2013.7.5 発行

東京都文京区湯島 2-4-4
全労連TEL 03-5842-5611

6. 28 最賃行動に 300 人

最低賃金時給 1,000 円以上の実現、全国一律最低賃金制度の確立、公務員の「賃下げ法」廃止、公務員賃金改善、労働法制の規制緩和阻止、社会保障の拡充、公契約・公正取引の実現などを求めて「6・28中央行動」を展開。厚生労働省前での348分（1,000円—652円=348分）のロングラン座り込み行動を軸に据え、厚生労働省交渉、最低賃金と中小企業支援課題での経済団体などの懇談を実施。300人の参加者が厚生労働省前を埋め尽くしました。



岐阜 「最低賃金署名キックオフ集会」を開催

岐阜県春闘共闘会議は、4月6日県教育会館にて「最低賃金署名キックオフ集会」を開催しました。岐阜県春闘共闘会議の河島副議長が自作した「最賃引き上げの歌」を歌い厳粛なムードの中、岐阜県春闘共闘会議の森議長が「景気回復、復興・生活再建の基本は暮らせる賃金の確立からだ。早期に最賃・時給1000円以上の実現を」と挨拶。当日はスリランカ人のサラットさん（西濃地域労組）が腕をふるって作ったスリランカのカレーやサラダなどに舌鼓をうちながら、参加者は「最賃署名をたくさん集めよう」と確認し合いました。



兵庫 最賃生活体験交流会とボウリング大会開催



最賃生活体験は、1週間を8,458円（最賃749円で週40時間勤務し、家賃など必要経費を差し引いた分として計算、主に食費・交通費・医療費・娯楽費などに使用する分）で、生活できるか？というものです。参加者は昨年8名、今年は4名（6月8日現在）でした。

昨年、大失敗をした体験者は、移動手段に徒歩やヒッチハイクを多用し、食費は海や山で食材を調達といったサバイバルゲームをやり通すことで、見事2,798円も余らせました。他の体験者は、「特に贅沢もせず、普通に生活をしたが・・・」「去年も今年も冠婚葬祭で・・・」達成ならず。

6月28日、兵庫労連はディーセントワーク・最賃宣伝&ボウリング大会を開催しました。宣伝は三宮・マルイ前で17時から開始。若い彼らこそ最賃の影響が大いにあるはず。関心を持ってもらえるように呼びかけながらビラを配布したり、署名を訴えました。

ボウリング大会は昨年より少ない参加となりましたが大いに盛り上がり兵庫も宣伝やボウリング大会に奮闘した「最賃デー」となりました。

静岡 静岡市議会議会運営委員会に趣旨説明

7月3日10時より、静岡市議会議会運営委員会において、「最低賃金の見直しと最低賃金の大幅引き上げを求める陳情書」の趣旨説明を、以下の論点に沿って行いました。

- 1、静岡の最賃735円は低すぎるということを、最低生計費試算との関係から説明しました。
- 2、景気回復には、最賃を上げることによる経済効果が大きいこと。
- 3、政労使合意の重みは大きいことを、田村厚生労働大臣の意思表明とともに主張しました。
- 4、政令市静岡市議会が、意見書を提出することの意義は大きいこと。

採択に賛成した会派は日本共産党だけでしたが、採択権を持たない議員2名からは、「最賃を上げることの意味は大きいので、地方市議会から、押し上げていくべきで、採択すべき」「最賃の問題は、日本の将来に関わる問題なので、不採択にすることなく、最低でも継続審議とすべきである」との意見が出ました。

不採択を表明した議員は、「最賃は国にまかせるべき」「中小企業が経営できなくなる」「地域差はあるので、全国一律はできない」「最賃を上げることによって雇用を失う」など、2009年に行った趣旨説明の時の論議と変わらない内容でした。情勢は大きく変わっているにもかかわらず、議員の意識は旧態然としており、残念です。12時より、シール投票「あなたのお時給」どんだけ～を実施しました。平日のお昼で人通りは少なかったですが、下校途中の高校生のグループが多数おり、「最賃って知っている?」「バイトしたことある?」との問いかけに快く答えてくれた。「最賃を授業で知った」という高校生がいる一方、全く知らないという一団もあり、社会に出る前に認識に差があることを知らされました。最多時給帯は、751円～850円（静岡の最賃は735円）です。

秋田 最賃引き上げロングラン宣伝と東北地協 最賃キャラバン実施



6月15日、秋田駅・ポポロードにおいて、県春闘懇・県労連合同の『最賃引き上げロングラン宣伝』をおこないました。恒例となったこの行動。最賃額を県民に知ってもらうとともに、引き上げを求める署名や、運動に生かす生の声（アンケート）を集めることが目的。5時間のロングラン宣伝なので、じっくり対話もでき、「654円は低すぎるよね」、「関東から秋田に来たけど、あまりの低さにビックリした」、「健康保険料や消費税はどんどんあがるし、生活が苦しくなるばかりだ」、さらにご年配の方が「将来、孫たちの

のためにも、引き上げは必要だ」などと話され、署名とアンケートに快く応じてくれました。アンケートでは、「最賃で働いた場合、月額約11万5千円（これから税・保険料が引かれる）で、ひと月・1人で暮らすことについて」の問いに『困難だ』の回答が9割となりました。また、「私たちは、最賃を全国一律で早急に800円以上、その上で千円以上にと提案していることについて」の問いには、9割が『賛成』と回答。署名とあわせ、いただいた声を、今後、最低賃金審議会などに意見をあげていきたいと思えます。

5年目となる全労連東北地協の最賃キャラバン 秋田県が「格差解消を国に要望する」

「地域最賃の大幅引き上げ」「被災地こそ大幅賃上げを」をもとめ、5月20日～30日まで東北各県を巡回して労働局長、県知事、経済・商工団体への要請や街頭宣伝などをおこないました。

秋田県入りした5月21日は、早朝街頭宣伝から始まり、経済団体へ要請、秋田県と懇談、秋田労働局への要請、報告集会をおこないました。

秋田県雇用労働政策課長との懇談では、「首都圏などとの格差が拡大してきている。青年の地元定着や地域経済活性化の観点からも、賃金の底上げと格差の是正をおこなう必要があると考える。今年も、格差解消を具体的に国に要望する」との意見が出されました。商工団体との懇談でも、「賃金の底上げは大事。低い賃金では労働者が集まらない」と、立場の違いはありますが、最賃引き上げの重要性で意見は一致しました。

—□■ お知らせとお願い

☆最低賃金1000円実現求める個人要請署名と団体要請署名の推進を！

☆最賃Tシャツ(S,M,L,XL)とピンバッジが出来ましたので注文してください。

◆各地の取り組みについて、全労連まで、お知らせください。

担当：伊藤、阿部、溝口、平川



最低賃金 1000円以上！全国一律最低賃金の実現を！